

『通俗仏教』

巻	号	通巻	年	月	日	種別	タイトル	著者	ページ	備考
1	1	1	1900	11	20		発刊の祝辞	文学博士 井上円了	本文なし	欠損か
1	1	1	1900	11	20		通俗仏教の発刊について	文学博士 村上専精	本文なし	欠損か
1	1	1	1900	11	20		祝辞	前田慈雲	本文なし	欠損か
1	1	1	1900	11	20		通俗仏教の発刊を祝す	梅原薫山	本文なし	欠損か
1	1	1	1900	11	20	本領	釈尊の本懐	記者	1	
1	1	1	1900	11	20	論説	皇恩	釈尊照	4	
1	1	1	1900	11	20	論説	仏教の感化	吉谷尊寿	6	
1	1	1	1900	11	20	論説	通俗仏教の発刊につきて	山田孝道	9	
1	1	1	1900	11	20	論説	調和の心	文学士 真岡湛海	13	
1	1	1	1900	11	20	論説	魔とは何ぞや	文学士 虎石恵實	16	
1	1	1	1900	11	20	論説	信念(其一)	文学士 野田義夫	17	
1	1	1	1900	11	20	講話	真実の信心	織田得能	21	
1	1	1	1900	11	20	講話	父母恩重経	若生形山	24	本文では「仏説父母恩重経講話」
1	1	1	1900	11	20	演説	仏陀の誓願	芥藤唯信	27	
1	1	1	1900	11	20	演説	社会の教育と宗教信者の覚悟	高島玉丸	31	
1	1	1	1900	11	20	史評	善信尼	鷲尾順敬	33	本文では「我国最初の出家善信尼」著者「僧史圖順敬」
1	1	1	1900	11	20	史評	泰澄大師	岡井慎吾	35	本文では著者「木市閑人」
1	1	1	1900	11	20	雑纂	盤谷の七日	忽滑谷快天	38	本文では著者「蝶給生」
1	1	1	1900	11	20	家庭	親の心得	東基吉	39	
1	1	1	1900	11	20	研究	仏教研究の方法	文学士 加藤玄智	45	
1	1	1	1900	11	20	研究	印度の宗教	モニエル、ウィリアム氏原著 文学士 融道玄	49	
1	1	1	1900	11	20	文苑	大徳贈答和歌集	僧史圖順敬	52	
1	1	1	1900	11	20	時評	現在の日本僧侶		54	
1	1	1	1900	11	20	時評	地方にある僧侶の務		55	
1	1	1	1900	11	20	時評	仏教の弘通		56	
1	1	1	1900	11	20	時評	宗教制度調査会の態度		57	
1	1	1	1900	11	20	時評	所謂淫祠邪教		59	
1	1	1	1900	11	20	思潮	信仰の確立		60	本文では「未来の宗教を議するよりも現在の信仰を確立せよ」
1	1	1	1900	11	20	思潮	仏教教理史の概観		61	
1	1	1	1900	11	20	思潮	社会組織と道德		62	
1	1	1	1900	11	20	思潮	我国近時の宗教思想		62	本文では「近時我国に於ける宗教思想の動向」
1	1	1	1900	11	20	思潮	落葉片々 漢民族の宗教的情操		63	
1	1	1	1900	11	20	抄書	日本の行為と戒律	南木性海	65	目次では「日常の行為と戒律」
1	1	1	1900	11	20	問答	仏事問答(五問)	若生國榮	66	
1	1	1	1900	11	20	叢報	教界最近の主なる出来事		69	
1	1	1	1900	11	20	叢報	訃音一東		69	
1	1	1	1900	11	20	叢報	教界の學事		69	
1	1	1	1900	11	20	叢報	布教雜聞		70	
1	1	1	1900	11	20	叢報	教界雜報		70	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	本領	仏心	記者	1	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	論説	仏教の辯護的解釈と批評的解釈	加藤玄智	4	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	論説	魔とは何ぞや	虎石恵實	9	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	論説	信念(其二)	野田義夫	12	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	論説	通俗の真意義	西脇玉峰	17	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	論説	他人の権利幸福を尊重すべし	菅孝廉	20	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	論説	法を使ふと法に使はると	武田宣明	21	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	講演	通俗仏教談	前田慈雲	24	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	講演	真実の信心	織田得能	30	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	講演	仏陀の誓願(承前)	芥藤唯信	32	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	史評	我国最初の出家善信尼(承前)	鷲尾順敬	37	本文では著者「僧史圖順敬」
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	雑纂	盤谷の七日(承前)	勿滑谷快天	39	本文では著者「蝶給生」
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	雑纂	仏法一話話	釋曉暉	40	本文では著者「歎嘯道人」
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	雑纂	十二因縁(上)	釋慶淳	44	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	家庭	親の心得(承前)	東基吉	48	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	研究	印度の宗教(承前)	モニエル、ウィリアム氏原著 文学士 融道玄	53	本文では訳者「爾庵抄訳」
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	文苑	大徳贈答和歌集(二)	僧史圖順敬	58	本文では著者「鷲尾順敬」
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	文苑	菊	僧史圖順敬	59	本文では著者「興山寺雲堂」
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	時評	日本仏教の活動		60	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	時評	貴神を化導すべし		61	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	時評	仏教女学校を起せ		62	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	寄書	通俗仏教の発刊に就いて	高田道見	63	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	寄書	通俗仏教の発刊をききて	木村あい子	63	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	問答	南無の解	守本文静	65	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	叢報	教界の主なる出来事		67	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	叢報	訃音四東		67	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	叢報	教界の學事		67	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	叢報	教界の雜事		68	
記載なし	記載なし	2	1900	12	20	叢報	本誌に対する各種の批評		69	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	口繪	聖徳太子		記載なし	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	本領	円満なる徳行	記者	1	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	法話	善と悪	釋尊照	3	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	法話	信心	大内青巖	5	本文では著者「鷲々居士」
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	法話	仏教と婦人	山田孝道	8	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	演説	漢字と仏教との関係	井上圓了	10	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	演説	仏陀の誓願	芥藤唯信	13	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	演説	嗚呼この苦蔵	常盤大定	15	本文では著者「五城学人」
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	演説	活仏の露現	梅原薫山	17	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	演説	心の師となるとも心を師とする勿れ	加藤玄智	20	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	講義	仏教通俗談(第二回)	前田慈雲	22	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	講義	仏説父母恩重経講話	若生國榮	26	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	史壇	聖徳太子の御事蹟	境野黄洋	30	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	史壇	聖徳太子の御誕生所と御墓所	長谷貫秀	34	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	家庭	親の心得	東基吉	38	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	家庭	家庭の趣味	高島玉丸	42	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	雑纂	印度の宗教	融道玄	46	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	雑纂	基督教徒の仏教批評	加藤玄智	49	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	雑纂	印度仏頭參拜記	曹洞宗大学林総監 陸鏡巖	51	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	雑纂	盤谷の七日(其三)	忽滑谷快天	53	本文では著者「蝶給生」
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	問答	仏事問答(六則)	若生國榮	55	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	時評	迎新年		57	本文では「新年を迎ふ」
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	時評	公徳の養成		58	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	時評	明治三十三年の仏教界		59	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	時評	梅一枝		64	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	時評	思潮		64	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	叢報	教界の雜事		67	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	叢報	教界の學事と布教		本文なし	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	叢報	新刊各種		本文なし	
記載なし	記載なし	3	1901	1	20	新年附録	家つと(小説)	大澤天山	付録1	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	口繪			ページ数記載なし	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	本領	世を厭ふことと天を楽しむこと	記者	1	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	法話	仏陀の修行	芥藤唯信	3	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	法話	仏教と婦人(其二)	山田孝道	6	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	法話	仏法一話話(其二)	釋曉暉	9	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	演説	通俗の解	大内青巖	13	本文では「通俗の解」著者「鷲々居士」
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	演説	夜明造業の吾人	常盤大定	14	本文では著者「五城学人」
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	演説	東亜仏教会に於ける諸大家の演説		18	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	講義	仏教通俗談(第三)	前田慈雲	23	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	講義	十二因縁(下)	釈慶淳	27	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	講義	仏説父母恩重経講話(其三)	若生國榮	29	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	史壇	聖徳太子伝	境野黄洋	31	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	史壇	聖徳太子の御誕生と御墓所	長谷貫秀	34	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	家庭	親の心得	東基吉	37	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	家庭	服装の改良	高島玉丸	41	本文では著者「高島園」

記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑纂	印度の宗教	融達玄	45	本文では訳者「南庵抄訳」
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑纂	基督教徒の仏教批評(其二)	加藤玄智	49	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑纂	仏教地理研究の必要	加藤咄堂	51	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑纂	興山上人の詩歌	鷲尾順敬	53	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	問答	仏教質疑應答(四件)	織田徳能	54	本文では「質問回答(四則)」
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	時評	会堂の建立		57	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	時評	政治家の徳操		58	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	時評	團體の制裁		59	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	時評	何故に涅槃会を修せざる		60	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	時評	時事遺憾		61	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑報	教界の主なる出来事		63	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑報	教界の學事		64	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑報	教界の雜事		64	
記載なし	記載なし	4	1901	2	20	雑報	訃言一束		66	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	本領	世を厭うことと天を楽しむこと	記者	1	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	演説	第二十二世紀における仏教	虎石憲實	3	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	演説	不可思議の辨	田中治六	6	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	演説	蓮華は高原陸地に生せず	松森龜通	12	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	講義	過度人道経の話	南條文雄	15	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	講義	仏説父母恩重教講話(其四)	若生國榮	18	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	法話	心の師となるとも心を師とする勿れ(承前)	加藤玄智	21	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	法話	眞の教主	深澤古山	28	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	史壇	増賞ひじり	鷲尾順敬	34	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	史壇	泰澄大師(其二)	岡井慎吾	37	本文では著者「木市閑人」
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	家庭	親の心得(承前)	東基吉	40	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	家庭	家庭教育一斑(其一)	臼田壽恵吉	44	本文では著者「育英軒主人」
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	雑纂	基督教徒の仏教批評	加藤玄智	48	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	雑纂	仏教地理研究の必要(承前)	加藤咄堂	50	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	雑纂	桑門談叢(一)	大澤天仙	54	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	問答	質問解答(五則)	織田徳能	56	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	時評	福澤の宗教觀		58	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	時評	迷信の勦絶		64	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	時評	聖権の濫用		66	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	雑報	教界の主なる近事		69	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	雑報	教界の學事		70	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	雑報	教界雜聞		70	
記載なし	記載なし	5	1901	3	20	本領	無の妙味	常盤大定	72	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	法話	道徳	島地察齋	6	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	法話	婦人の罪穢	山田孝道	8	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	演説	衆生の恩について	南木性海	14	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	演説	釈尊降誕会に於ける諸大家の演説	傍藤子	21	本文では「第十回釈尊降誕会…」
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	講義	禪宗と通俗	廣津實全	31	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	講義	仏説父母恩重教講話(其五)	若生國榮	34	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	史壇	増賞ひじり(其二)	鷲尾順敬	36	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	史壇	泰澄大師(承前)	岡井慎吾	38	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	家庭	親の心得	東基吉	41	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	雑纂	印度の宗教	融達玄	44	本文では訳者「南庵抄訳」
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	雑纂	桑門談叢(二)	大澤天仙	47	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	文苑	良寛禪師の和歌	僧史國順敬	49	本文では著者「僧史國主人」
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	問答	仏とは何ぞや	梅原薫山	51	(板倉氏の問ひに答ふ)
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	時評	米国基督教徒の聲		54	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	時評	宗教的智識の扶植について		59	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	時評	仏教雜誌としての四月		62	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	時評	新刊批評『仏教の女子』		63	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	雑報	教界の出来事数件		65	
記載なし	記載なし	6	1901	4	20	附録	小説 天女像	上屋陰教	付録1	本文では著者「無為庵」
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	本領	過去と未来と現在	記者	1	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	法話	仏陀の修業	齋藤唯信	4	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	法話	腹中の猛火	伊藤哲英	7	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	演説	迷信	望月信亨	11	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	演説	人に動物虐待の権ありや	高島玉丸	13	本文では著者「高島竹友」
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	講義	仏教通俗談(承前)	前田慧雲	18	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	講義	仏説父母恩重教講話(其六)	若生國榮	21	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	史壇	空也上人	鷲尾順敬	24	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	史壇	泰澄大師(承前)	岡井慎吾	28	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	史壇	聖徳太子以前仏教の吾國に及せし影響	若原皇恩	30	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	家庭	家庭教育一斑(其二)	臼田壽恵吉	33	本文では著者「育英軒主人」
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	雑纂	基督教徒の仏教批評(承前)	加藤玄智抄抜	38	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	雑纂	桑門談叢(三)	大澤天仙	41	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	文苑	良寛禪師の歌	僧史國順敬	44	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	文苑	桜井松子刀目の遺稿	花房騰兒	45	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	文苑	(和歌)	瓢瀧舎	47	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	文苑	(和歌)	戸塚密明	47	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	文苑	(和歌)	龍華坊	48	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	文苑	(和歌)	佐藤十三二	48	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	時論	オルゴット氏の演説(米国佛教)		49	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	時論	アーサー・リリー氏の仏教批評		52	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	時論	安息日と罪惡		53	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	時論	我國の慈善問題		53	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	時論	仏苗学園と如幻子		56	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	問答	質問解答	織田徳能	59	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	問答	活ける教義	深澤古山	59	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	雑報	學事		66	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	雑報	雜誌出版		66	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	雑報	會合		67	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	雑報	個人		67	
記載なし	記載なし	7	1901	5	20	雑報	雜事		69	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	本領	危機一髪	記者	1	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	法話	仏陀の悪魔退治	不老仙 齋藤唯信	5	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	法話	涅槃	山田孝道	8	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	演説	形体の美と精神の美と何れを本とすべきや	吉谷覺壽	14	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	演説	家庭と迷信	高島玉丸	17	本文では著者「高島園」
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	演説	四思瓜生会の演説	傍藤子	21	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	講義	仏教通俗談(承前)	前田慧雲	28	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	史壇	第二仏教渡來以後聖徳太子の社會の概観(承前)	若原皇恩	32	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	家庭	親の心得	東基吉	36	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	家庭	家庭教育一斑	臼田壽恵吉	39	本文では著者「育英軒主人」
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑纂	基督教徒の仏教批評(承前)	ハバルケラーラス氏原著 加藤玄智抄訳	42	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑纂	鹽谷の七日(其四)		45	本文では著者「蝶蛤生」
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑纂	廣野につきて	榎田仙巖	46	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑纂	桑門談叢		50	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	文苑	寒巖阿闍梨の和歌俳句	鷲尾順敬	53	本文では著者「寂光庵主人」
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	文苑	桜井松子刀目の遺稿(其二)	花房騰兒	55	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	文苑	其他		57	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑報	聞録彙録		59	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑報	學事と出版		64	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑報	雜事		64	
記載なし	記載なし	8	1901	6	10	雑報	個人消息		66	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	本領	教風論	記者	1	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	法話	仏陀修行の第一歩	不老仙 齋藤唯信	8	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	法話	独り来り独り去る	有馬裕政	11	本文では「独り来り独り去る」
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	演説	良心に就きて	野田義夫	14	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	演説	現世を説け	高島大園	19	本文では著者「高島園」
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	講義	仏説父母恩重教講話(其七)	若生國榮	25	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	史壇	玄奘法師	鷲尾順敬	29	

記載なし	記載なし	9	1901	7	10	史壇	崎僧大猷	大澤天仙	32	本文では著者「無庵樓主人」
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	史壇	歴史上より見たる袈裟	中村勝梁	33	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	家庭	夏の家	東基吉	38	本文では著者「鷺水生」
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	家庭	家庭教育一斑(其四)	臼田壽恵吉	39	本文では著者「育英軒主人」
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	雑纂	基督教徒の仏教批評	パウルーケラス氏原著 加藤玄智抄訳	42	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	雑纂	読史録	富田純徳	45	本文では著者「古堂潜夫」
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	文苑	興山寺雲堂大徳の和歌	寂光盧主人手録	48	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	文苑	桜井松子刀自遺稿 其三	香宇道人	49	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	文苑	(和歌)	繁原直麿	50	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	文苑	(和歌)	佐藤十三二	51	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	時評	偏信仰		52	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	時評	不平等		54	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	時評	女子研究		56	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	時評	出世間		57	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	新刊紹介	新刊紹介		58	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	問答	質疑応答(数件)	深澤古山	61	
記載なし	記載なし	9	1901	7	10	彙報	内外教界の出来事数十件		67	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	本領	清涼なる身心	記者	1	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	説話	学仏者の用心	南條文雄講話筆録	4	大日本仏教青年会夏期講習会に於いて
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	説話	習性	横井雪庵	9	本文では著者「緒川漁史」
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	説話	人類の精神的区別	樹田仙巖	12	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	史壇	法均尼	鷲尾順敬	16	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	史壇	村上博士の仏教東漸談		18	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	家庭	親の心得(承前)	東基吉	22	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	雑纂	東西の宗教画	岡伯久保米徳翁談話	26	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	雑纂	調曲耶耶	森大狂	28	本文では著者「虚舟道人」
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	雑纂	迷信談	富田古堂	35	本文では著者「田舎尊者」
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	雑纂	ラマ教について	ふ、こ、生	38	本文では「喇嘛教について」
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	投書	逸話数則	三浦柏樹	49	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	投書	審成律師	榮々道人	51	本文では著者「備中閑々道人」
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	投書	飯膳上人に就て	森山曳尾	52	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	投書	仏教の因果説	佐崎千里	53	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	文苑	智堂上人の和歌	寂光盧主人手録	44	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	文苑	桜井松子刀自の遺稿	香宇道人	45	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	文苑	十三二等俳句雲山		47	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	文苑	(俳句)	五嶺	48	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	問答	質疑応答(六件)	深澤古山	55	
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	彙報	苦果甘果		60	目次には「甘果果十餘種」
記載なし	記載なし	10	1901	8	10	彙報	教界の近事大小数十件		60	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	口繪	喇嘛教貢主(自筆附)	寫真版	中扉	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	本領	人間生活の三階段	記者	1	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	説話	権友	斎藤唯信	7	本文では著者「哲学館講師 斎藤不老仙」
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	説話	三楽の説	文学士 有馬裕政	9	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	説話	「いろは」と仏教	伊藤哲英	13	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	説話	仏教の根本義	文学士 内田融講話	19	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	講義	仏説父母恩重教講話(其八)	禅主筆 若生國榮	22	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	史壇	忍性菩薩	鷲尾順敬	25	本文中では著者「懶園主人」
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	史壇	虎仏道	森大狂	28	本文中では著者「大狂居士」
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	史壇	仏教東漸談(其二)	文学博士 村上專精講話筆録	33	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	家庭	親の心得(承前)	東基吉	40	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	雑纂	放下庵雜言(其一)	前田慧雲	44	本文中では著者「桑城陳人」
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	雑纂	貧民窟の夏の朝	安藤織陽	47	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	雑纂	近世高僧逸話(一)	横井雪庵	50	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	文苑	小説 業師指	大澤天仙	52	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	文苑	松子刀自の遺稿	花房巖児	56	本文では著者「香宇道人」
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	文苑	静園社詠草	大和 三蔭顯遠	57	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	新刊紹介	新刊紹介		58	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	問答	質疑応答(数件)	深澤古山	60	
記載なし	記載なし	11	1901	9	10	彙報	教界の近事大小数十件		68	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	本領	宗教生活の目的	記者	1	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	本領	秋の福音	記者	4	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	説話	三楽の説(つづき)	有馬裕政	6	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	説話	宗教と哲学上の別	文学士 虎石恵實	11	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	説話	我身の大問題	上杉文秀	15	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	説話	日本宗教の病的現象	加藤仙堂	20	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	説話	彼岸	文学博士 南條文雄話	25	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	講義	仏説父母恩重教講話(其九)	形山 若生國榮	30	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	史壇	物外和尚	森大狂	33	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	史壇	仏教東漸談(其三)	文学博士 村上專精講話	38	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	家庭	家庭教育一斑(其五)	臼田壽恵吉	44	育英軒主人
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	雑纂	放下庵雜言(其二)	前田慧雲	47	本文中では著者「桑城陳人」
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	雑纂	基督教徒の仏教批評	ケラス博士原著 加藤玄智抄訳	50	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	雑纂	印度仏跡参拝記(抄節其二)	入道道人 陸鏡巖	55	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	文苑	学信和尚の和歌	鷲尾順敬	59	本文中では著者「懶園主人」
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	文苑	(和歌)	三蔭顯遠	61	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	文苑	(和歌)	冬野徳行	62	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	文苑	(和歌)	花房香宇	62	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	時評	宗教なき国民		63	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	時評	偏狭なる宗教家		64	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	時評	盲目なる仏教徒		64	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	時評	我国の宗教研究法		65	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	時評	日本のトルストイ伯		64	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	時評	空室乱墜		66	
記載なし	記載なし	12	1901	10	10	彙報	教界の近事大小数十件		67	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	本領	統一的生活	記者	1	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	説話	教科大学新設の声	文学士 五城學人	6	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	説話	宗教の関中に於ける風光	多田鼎	11	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	説話	仏知見	島地嘯雷講演	16	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	説話	叫叱哭喚		19	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	講義	仏陀の勳誠	上杉文秀	20	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	講義	仏説父母恩重教講話(其十)	形山 若生國榮	24	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	講義	戒しのきはみ		27	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	史壇	無住法師(上)	鷲尾順敬	29	本文中では著者「懶園主人」
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	史壇	聖条朝以前の仏教(承前)	岩原皇隠	32	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	史壇	歌 鷲見、清澄、拾弘		35	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	家庭	親の心得(つづき)	東基吉	36	子どもの教育はお伽話のこと
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	家庭	帯妻妻妾多妻多夫	高島園	41	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	家庭	詩 竹隠、暮天閣		44	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	修養	虚空有声録	若生形山口述 毛利顯雄筆録	45	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	雑纂	放下庵雜言(其三)	前田慧雲	50	本文中では著者「桑城陳人」
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	時論小観	村上專精氏脱稿		53	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	時論小観	学生と宗教		56	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	時論小観	仏教社会の疑問		56	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	時論小観	基督教徒の問題		57	本文では「耶蘇教内の問題」
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	時論小観	基督教界の四傑		58	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	時論小観	映影録		59	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	時論小観	新刊紹介		60	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	問答	仏教の大小乗の別について	深澤古山	61	
記載なし	記載なし	13	1901	11	10	彙報	教界の近事大小数十件		63	
1	14	14	1901	12	10	本領	懺悔	記者	1	
1	14	14	1901	12	10	説話	懺心(承前)	大内青巒	5	本文では著者「諸々居士」
1	14	14	1901	12	10	説話	秋五句	園み記事	8	
1	14	14	1901	12	10	説話	仏成道	栗木智堂	11	本文では著者「文学士 栗木水月」
1	14	14	1901	12	10	説話	人生に於ける宗教の価値	文学士 八木光貴	14	

1	14	14	1901	12	10	説話	故和上慧明院遺稿(節録)	門人 大和 楠了諦寄	18	
1	14	14	1901	12	10	講義	仏陀の勸戒(其二)	上杉文秀述	19	
1	14	14	1901	12	10	史壇	無任法師(中)	藤尾順敬	23	本文中では著者「柳園主人」
1	14	14	1901	12	10	史壇	客冬景歌五首	花房香宇	28	読み記事
1	14	14	1901	12	10	史壇	赤節青芝		32	
1	14	14	1901	12	10	修養	虚空有声録(其二)	若生形山口述 毛利顕雄筆記	36	
1	14	14	1901	12	10	修養	歌	冬野徳行 豊巻裕弘	38	読み記事
1	14	14	1901	12	10	家庭	家庭教育一斑(其六)	臼田壽重吉	41	育英軒主人
1	14	14	1901	12	10	家庭	雛の花(小説)	廣本青洲撰	45	
1	14	14	1901	12	10	雑纂	仏教文士側面観(其一)	所謂仏教文士の一人	51	
1	14	14	1901	12	10	雑纂	近世高僧逸話(二)	横井雪庵	55	絹川隼士
1	14	14	1901	12	10	雑纂	大観録	渡邊六尺	57	
1	14	14	1901	12	10	雑纂	詩 巖間の蓮華	春次開	59	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	井上博士の宗教論		60	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	「中央公論」の宗教時評		61	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	栢植秋歌君の遠俗論		61	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	「清新」誕生の声		61	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	姉崎学士の書簡		63	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	「妙宗」の主筆		64	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	「四明餘露」の好古和尚		65	
1	14	14	1901	12	10	時論小観	落葉十句	茗溪	62	読み記事
1	14	14	1901	12	10	時論小観	歌 清澄 修軒 素澄 はつ子		65	
1	14	14	1901	12	10	読者の紙面			67	
1	14	14	1901	12	10	叢報	教界の近事大小数十件		68	
2	1	15	1902	1	1	論説	教法の宣伝について	記者	巻頭1	
2	1	15	1902	1	1		通俗仏教第一巻総目次		1	
2	1	15	1902	1	1	蔵書書目	講義		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	蔵書書目	法話		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	蔵書書目	教科用		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	蔵書書目	教書		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	仏教字典		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	各宗要綱		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	禪書		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	真言宗		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	各宗用書		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	法語		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	歴史		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	伝記		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	論説		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	雑著		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	哲学		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	1	15	1902	1	1	発刊書目	施本用書		ページ数不明	目次内容と本文が一致せず
2	2	16	1902	2	10		雑題を与えよとは何のいいぞ	記者	1	
2	2	16	1902	2	10		如是我信如是我行	村上專精	4	
2	2	16	1902	2	10		妙立和尚行業口授(其二)	編輯局同人	8	
2	2	16	1902	2	10		仏教文士側面(其三)	所謂仏教文士の一人	10	
2	2	16	1902	2	10		放下庵雑言(其一)	前田慧雲	14	本文中では著者「桑城陳人」
2	2	16	1902	2	10		鉅毒被害民の為に天下に訴える	南木性海	17	
2	2	16	1902	2	10		ニツツ	莫作	30	
2	2	16	1902	2	10		先泰閑話	西脇秋水	31	
2	2	16	1902	2	10		短歌	十八首	34	
2	2	16	1902	2	10		漢詩	三絶	35	
2	2	16	1902	2	10		仏説四十二章教講義(其二)	大内青巒	35	
2	2	16	1902	2	10		奉仏家としての菅公(其二)	横井雪庵	40	
2	2	16	1902	2	10		親の心得	東基吉	44	
2	2	16	1902	2	10		基督教徒の仏教批評(第一巻第十二号へつづく)	ハウルケラス氏原著 加藤玄智抄訳	47	
2	2	16	1902	2	10		仏陀の親誠(其三)	上杉文秀	49	
2	2	16	1902	2	10		雲照律師を訪ねる	訪問子	54	
2	2	16	1902	2	10		新刊紹介	八項	57	
2	2	16	1902	2	10		その雑誌に於いて読むべきもの	そのかかり	59	
2	2	16	1902	2	10		妙宗の記者はらいに答える	時論子	60	
2	2	16	1902	2	10		教界の出来事	叢報子	63	
2	2	16	1902	2	10		読者の紙面		64	
2	3	17	1902	3	10		雑題を与えよとは何の謂ぞ(其二)	記者	1	
2	3	17	1902	3	10		有形と無形	村上專精	5	
2	3	17	1902	3	10		近世高僧逸話(三)	絹川隼士	3	
2	3	17	1902	3	10		仏教に於ける善業の意義	柳田仙巖	18	
2	3	17	1902	3	10		泰澄大師(一の七へつづく)	木市閑人	24	岡井慎吾
2	3	17	1902	3	10		四十二章経講義(其三)	大内青巒	26	
2	3	17	1902	3	10		聖徳太子(仏教歴史編)	大澤天仙	29	
2	3	17	1902	3	10		迷信と宗教	麥菽	31	
2	3	17	1902	3	10		虚空有声録	形山 若生 国栄 山口述 毛利顕雄 雄筆記	32	
2	3	17	1902	3	10		放下庵雑言	前田慧雲	34	本文中では著者「桑城陳人」
2	3	17	1902	3	10		陣僧、放下僧、売談僧	本多澄雲	36	
2	3	17	1902	3	10		三寶興隆史(二回)	藤尾順敬	38	
2	3	17	1902	3	10		護法百話	花房香宇	41	
2	3	17	1902	3	10		仏陀の親誠	上杉文秀	42	
2	3	17	1902	3	10		基督教徒の仏教批評(承前)	ハウルケラス氏原著 加藤玄智抄訳	45	
2	3	17	1902	3	10	文苑	詩、歌		46	
2	3	17	1902	3	10		放言七則	渡邊六尺	47	
2	3	17	1902	3	10		仏教文士側面観	所謂仏教文士の一人	49	
2	3	17	1902	3	10		謡曲「羽衣」	廣本精洲	52	
2	3	17	1902	3	10		新刊紹介		58	
2	3	17	1902	3	10		読者のお尋ねについて	二作	59	
2	3	17	1902	3	10		小品数目	時評子	59	
2	3	17	1902	3	10		読者の紙面		65	
2	3	17	1902	3	10		二月の日誌		68	
2	3	17	1902	3	10	叢報	教界の出来事		69	
2	4	18	1902	4	10		教界の三居士肖像(口繪)	寫真版	中扉	
2	4	18	1902	4	10		人道と宗教	記者	1	
2	4	18	1902	4	10		應無所住而生其心	紀平正義	5	
2	4	18	1902	4	10		村上專精博士の簡歴	博士直話	14	
2	4	18	1902	4	10		四十二章経講義(其四)	大内青巒	22	
2	4	18	1902	4	10		先泰閑話(其二)	西脇玉峯	24	
2	4	18	1902	4	10		学問と宗教との相異	村上專精	27	
2	4	18	1902	4	10		妙立和尚行業口授(其三)	編輯局同人	36	
2	4	18	1902	4	10		社会小観	西坡	38	
2	4	18	1902	4	10	文苑	和歌 俳句		40	
2	4	18	1902	4	10		覚道と人道	若生國榮	43	
2	4	18	1902	4	10		家庭と学校	東基吉	50	
2	4	18	1902	4	10		仏教文士側面観(其五)	所謂仏教文士の一人	54	
2	4	18	1902	4	10		仏書の読み方(其二)	無名氏	57	
2	4	18	1902	4	10		邁世の価値	深澤西坡	60	
2	4	18	1902	4	10		小品数目	時評子	61	
2	4	18	1902	4	10		初刊の雑誌	紹介子	63	
2	4	18	1902	4	10		質疑解答(数件)	深澤高山	64	
2	4	18	1902	4	10		三月の教界日誌	其かかり	67	
2	4	18	1902	4	10	叢報	教界の近事	叢報子	67	
2	14	臨時増刊	1903	1	10	口絵	釈尊雪地仏陀伽耶之真景		中扉	
2	14	臨時増刊	1903	1	10		今日の急務		1	
2	14	臨時増刊	1903	1	10		各宗高僧入滅年代一覧		3	
2	14	臨時増刊	1903	1	10		仏教各宗派開祖并現任管長事務所一覧		4	
2	14	臨時増刊	1903	1	10		通俗仏教第一巻要目		5	事務所一覧からまたページ数振り直し
2	14	臨時増刊	1903	1	10		光融館出版平易通俗仏教講義書目		9	

2	14	臨時増刊	1903	1	10	光臨館発売書目		41		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏に関する高僧の画像(口繪)		中厚		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏緒言	主筆記者	1		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	山田孝道	3		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	真宗勸学 島地嘯雷	8		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	露露居士 大内青巒	11		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	上杉文秀	13		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	形山 若生國榮	15		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏(支那の禪僧と念仏)	望月信喜	17		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	前田慧雲	19		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	内院寺昌長 釋宗演	20		
3	1	記載なし	1903	1	10	禪と念仏	村上專精	21		
3	1	記載なし	1903	1	10	近世に於ける禪と念仏の高僧	鷲尾順敬	21	本文中では著者「欄園主人」	
3	1	記載なし	1903	1	10	二河白道長歌	長命寺恵忍	35		
3	1	記載なし	1903	1	10	新年の法話	真宗講師 吉谷覺壽	46	本文では著者「一乘院覺壽」	
3	1	記載なし	1903	1	10	仏教の真理	ハウルケーラス氏原著 加藤 玄智抄訳	48		
3	1	記載なし	1903	1	10	四十二章経講義(承前)	露露居士 大内青巒	51		
3	1	記載なし	1903	1	10	質疑応答(四件)	擔任記者	54		
3	1	記載なし	1903	1	10	応募短文 禪と念仏(九篇)		59		
3	1	記載なし	1903	1	10	教界時言	有馬裕政	64		
3	1	記載なし	1903	1	10	教界時報	擔任記者	66		
3	1	記載なし	1903	1	10	教界日誌(明治三十五年十二月分)	擔任記者	69		
3	1	記載なし	1903	1	10	新刊批評	擔任記者	69		
3	2	記載なし	1903	2	10	仏教を学ばんとする人の間に答える書	鷲尾順敬	1		
3	2	記載なし	1903	2	10	寂靜無着	南條文雄	4		
3	2	記載なし	1903	2	10	法話	村上專精	6		
3	2	記載なし	1903	2	10	迷信と正信	大内青巒	10		
3	2	記載なし	1903	2	10	仏教の女子	山田孝道	21		
3	2	記載なし	1903	2	10	行路難(人生の雑感の三)	加藤咄堂	26	本文では題名「人生雑感」著者「咄堂居士」	
3	2	記載なし	1903	2	10	吹き寄せ録(其続)	若生形山	28		
3	2	記載なし	1903	2	10	理想ある生活	樹田仙巖	31		
3	2	記載なし	1903	2	10	近世の五高僧	欄園主人	36		
3	2	記載なし	1903	2	10	仏教の格言	岩上筑川	41		
3	2	記載なし	1903	2	10	六花鏡粉	安藤謙徳	47	本文では著者「鑑臨学人」	
3	2	記載なし	1903	2	10	日本の宗教に就いて	有馬裕政	49	本文では題名「日本の宗教につき」著者「明嶽道人」	
3	2	記載なし	1903	2	10	四十二章経講義(承前)	大内青巒	56		
3	2	記載なし	1903	2	10	質疑応答	擔任記者	59		
3	2	記載なし	1903	2	10	仏教信徒の心得三カ條(応募短文)		65		
3	2	記載なし	1903	2	10	読者の文壇	擔任記者	68		
3	2	記載なし	1903	2	10	日本仏家人名辞書第二冊に就いて	鷲尾順敬	69		
3	2	記載なし	1903	2	10	教界時報	擔任記者	69		
3	2	記載なし	1903	2	10	教界日誌(一月分)	擔任記者	73		
3	2	記載なし	1903	2	10	教界文壇	擔任記者	73		
3	2	記載なし	1903	2	10	新刊批評	擔任記者	74		
3	3	記載なし	1903	3	10	自利利他論	主筆記者	1		
3	3	記載なし	1903	3	10	封機説法	常盤大定	4		
3	3	記載なし	1903	3	10	仏陀の光明	真宗勸学 島地嘯雷	8		
3	3	記載なし	1903	3	10	仏教の女子(つづき)	山田孝道	14		
3	3	記載なし	1903	3	10	禪と念仏	陸鏡巖	21		
3	3	記載なし	1903	3	10	明如上人を追懐す	大内青巒	24		
3	3	記載なし	1903	3	10	吹き寄せ録	若生形山	36		
3	3	記載なし	1903	3	10	国上寺と五合庵	廣本靖洲	40		
3	3	記載なし	1903	3	10	西藏探検僧慧海	それがし	43		
3	3	記載なし	1903	3	10	仏教の格言	岩上筑川	48		
3	3	記載なし	1903	3	10	玉耶女経講話	釋靈照	51		
3	3	記載なし	1903	3	10	質疑応答	擔任記者	54		
3	3	記載なし	1903	3	10	幸福なる生活(応募短文)		60		
3	3	記載なし	1903	3	10	読者の文壇	擔任記者	64		
3	3	記載なし	1903	3	10	高橋泥船居士	阿部正人	64		
3	3	記載なし	1903	3	10	教界時報	擔任記者	67		
3	3	記載なし	1903	3	10	教界日誌(二月分)	擔任記者	70		
3	3	記載なし	1903	3	10	教界文壇(二月分)	擔任記者	70		
3	3	記載なし	1903	3	10	新刊批評	擔任記者	71		
3	4	記載なし	1903	4	10	玉虫厨子(口繪)		中厚		
3	4	記載なし	1903	4	10	花のうぶや		1		
3	4	記載なし	1903	4	10	仏陀の性格観	常盤大定	1		
3	4	記載なし	1903	4	10	如何にして仏教に入るべきか	真宗学師 斎藤唯信	12		
3	4	記載なし	1903	4	10	人間業の妙案	松崎覺本	21		
3	4	記載なし	1903	4	10	復古は革新と其結果に於いて同一なり	富田古堂	24	本文は著者「古堂学人」	
3	4	記載なし	1903	4	10	学者及び宗教者の有する自由(哲学館問題に就いて)	多田鼎	26		
3	4	記載なし	1903	4	10	譬觀独語	無名氏	30		
3	4	記載なし	1903	4	10	家庭教育のはなし	東基吉	32		
3	4	記載なし	1903	4	10	現に別れたる親の覺悟	曹洞宗布教使 芳川雄悟	35		
3	4	記載なし	1903	4	10	仏教の格言	岩上筑川	44		
3	4	記載なし	1903	4	10	玉虫厨子	欄園主人	46		
3	4	記載なし	1903	4	10	桃水和尚	北條善巧	50		
3	4	記載なし	1903	4	10	質疑応答	擔任記者	56		
3	4	記載なし	1903	4	10	聖誕日の感(応募短文)		62		
3	4	記載なし	1903	4	10	取締事件と宗教	臥松生	66	教界時言	
3	4	記載なし	1903	4	10	教界時報	擔任記者	69		
3	4	記載なし	1903	4	10	教界日誌	擔任記者	75		
3	4	記載なし	1903	4	10	新刊批評	擔任記者	76		
3	5	記載なし	1903	5	10	本領	主任記者	1		
3	5	記載なし	1903	5	10	論説	基督教に対する仏教徒の態度	南木性海	3	
3	5	記載なし	1903	5	10	演説	吾人の理想	大内青巒	5	
3	5	記載なし	1903	5	10	演説	人生道徳の実踐法	村上專精	13	
3	5	記載なし	1903	5	10	講義	玉耶女経講話(承前)	釋靈照	17	
3	5	記載なし	1903	5	10	講義	曇茶羅の講話	釋清淨	22	
3	5	記載なし	1903	5	10	講義	日本の宗教につき	有馬裕政	26	本文では著者「明嶽道人」
3	5	記載なし	1903	5	10	講義	精神修養閑話(一)	若生國榮	30	
3	5	記載なし	1903	5	10	講義	仏教の格言	岩上筑川	33	
3	5	記載なし	1903	5	10	史談	鑑臨禪師の真宗攻撃	鷲尾順敬	37	
3	5	記載なし	1903	5	10	史談	高橋泥船居士	安部正人	39	
3	5	記載なし	1903	5	10	訪問	大内青巒先生の経歴談	訪問子	43	
3	5	記載なし	1903	5	10	家庭	新おとぎばなし(一)	楽々坊	47	
3	5	記載なし	1903	5	10	文苑	漢詩教習		50	
3	5	記載なし	1903	5	10	宗教小説	彼岸桜	町田柳塘	51	
3	5	記載なし	1903	5	10	質疑応答	応答数件	擔任記者	55	
3	5	記載なし	1903	5	10	応募短文	自利利他		61	
3	5	記載なし	1903	5	10	教界日誌	日誌数條	擔任記者	66	
3	5	記載なし	1903	5	10	教界時報	時事数件	擔任記者	66	
3	5	記載なし	1903	5	10	新刊批評	新刊数種	擔任記者	69	
3	6	記載なし	1903	6	10	本領	自利利他論(三)	主筆記者	1	
3	6	記載なし	1903	6	10	演説	人生道徳の実踐法(続)	村上專精	3	
3	6	記載なし	1903	6	10	演説	自利利他	真宗観学 島地嘯雷	7	
3	6	記載なし	1903	6	10	講義	四十二章経講話(続)	大内青巒	12	
3	6	記載なし	1903	6	10	講義	玉耶女経講話(承前)	釋靈照	16	
3	6	記載なし	1903	6	10	講義	日本の宗教に就て(続)	有馬裕政	20	
3	6	記載なし	1903	6	10	修養	精神の修養	曹洞宗布教使 芳川雄悟	22	
3	6	記載なし	1903	6	10	修養	精神修養閑話(二)	曹洞宗文書課長 若生國榮	26	
3	6	記載なし	1903	6	10	修養	仏教の格言	岩上行坡	29	本文では著者「岩上筑川」
3	6	記載なし	1903	6	10	史談	風潭と徂徠	鷲尾順敬	33	
3	6	記載なし	1903	6	10	史談	高橋泥船居士(三)	安部正人	36	
3	6	記載なし	1903	6	10	訪問	大内青巒先生の経歴談(承前)	訪問子	40	
3	6	記載なし	1903	6	10	家庭	家庭教育	東基吉	42	
3	6	記載なし	1903	6	10	家庭	新おとぎばなし(二)	平子露嶺	45	本文では著者「楽々坊」

3	6	記載なし	1903	6	10	茶話	文藝小話	藍山人	49	
3	6	記載なし	1903	6	10	文苑	漢詩数首		52	
3	6	記載なし	1903	6	10	古徳法話	慈雲尊者の自伝		52	
3	6	記載なし	1903	6	10	質疑応答	応答数件	擔任記者	56	
3	6	記載なし	1903	6	10	応募短文	二利の衝突する際に於ける最後の決心		63	
3	6	記載なし	1903	6	10	教界日誌	日誌数條	擔任記者	68	
3	6	記載なし	1903	6	10	教界時報	時事数件	擔任記者	68	
3	6	記載なし	1903	6	10	新刊批評	新刊数種	擔任記者	71	
3	7	記載なし	1903	7	10	本領	自利利他論(三・四)	主筆記者	1	
3	7	記載なし	1903	7	10	演説	弘法大師降誕生会に際する所蔵	井上哲次郎	4	
3	7	記載なし	1903	7	10	講義	四十二章経講義(続)	大内青巖	17	
3	7	記載なし	1903	7	10	講義	玉耶女経講義(承前)	釋雲照	19	
3	7	記載なし	1903	7	10	修養	精神修養閑話(三)	曹洞宗文書課長 若生國榮	22	
3	7	記載なし	1903	7	10	修養	仏教の格言	若上筑川	24	
3	7	記載なし	1903	7	10	史談	西蔵仏教史談	無名氏	27	
3	7	記載なし	1903	7	10	史談	鑷眼禪師の真宗攻撃(続)	鷲尾順敬	30	
3	7	記載なし	1903	7	10	史談	高橋泥船居士の鑑術と仏教	安部正人	33	
3	7	記載なし	1903	7	10	訪問	可睡斎熱仙禪師の談話	院葉庵有外	35	
3	7	記載なし	1903	7	10	家庭	家庭教育(続)	東基吉	39	
3	7	記載なし	1903	7	10	家庭	新おとぎばなし(承前)	染々坊	41	
3	7	記載なし	1903	7	10	茶話	無名茶話	それがし	46	
3	7	記載なし	1903	7	10	文苑	和歌数首		48	
3	7	記載なし	1903	7	10	教界時言	曠清澤鴻之師	有馬裕政	49	本文では著者「臥松生」
3	7	記載なし	1903	7	10	質疑応答	応答数件	擔任記者	54	
3	7	記載なし	1903	7	10	応募短文	夏のたのしみ	擔任記者	60	
3	7	記載なし	1903	7	10	教界日誌	日誌数件	擔任記者	63	
3	7	記載なし	1903	7	10	教界時報	時事数件	擔任記者	63	
3	8	記載なし	1903	8	10	家憲	仏教信徒の家憲	円覚寺僧長 釋宗演	1	
3	8	記載なし	1903	8	10	家憲	仏教信徒の家憲に就て	南條文雄	2	
3	8	記載なし	1903	8	10	家憲	仏教信徒の家憲	若上行坡	4	
3	8	記載なし	1903	8	10	論説	軍人布教	曹洞宗布教師 芳川雄悟	6	
3	8	記載なし	1903	8	10	論説	信仰の対象	眞宗宗師 斎藤唯信	10	
3	8	記載なし	1903	8	10	修養	独掌自鳴	蓬津實全	20	
3	8	記載なし	1903	8	10	修養	精神修養閑話(四)	曹洞宗文書課長 若生國榮	24	
3	8	記載なし	1903	8	10	修養	毒悪の教誡	若上筑川	26	
3	8	記載なし	1903	8	10	講義	玉耶女経講義(続)	釋雲照	28	
3	8	記載なし	1903	8	10	講義	四十二章経講義(続)	大内青巖	34	
3	8	記載なし	1903	8	10	訪問	井上博士の西洋宗教視察談	訪問子	40	
3	8	記載なし	1903	8	10	家庭	村上家の家訓	門弟甲某	43	
3	8	記載なし	1903	8	10	茶話	茶ばなし	懶園主人	46	
3	8	記載なし	1903	8	10	文苑	漢詩数首	山田湖南	49	本文では著者「湖南 山田孝道」
3	8	記載なし	1903	8	10	寄書	愛語	村上蓮泉	50	
3	8	記載なし	1903	8	10	質疑応答	応答数件	擔任記者	53	
3	8	記載なし	1903	8	10	応募短文	仏教信徒の家憲に就いて	擔任記者	59	
3	8	記載なし	1903	8	10	応募短文	仏教信徒の家憲数篇	擔任記者	60	
3	8	記載なし	1903	8	10	教界日誌	日誌数件	擔任記者	66	
3	8	記載なし	1903	8	10	教界時報	時事数件	擔任記者	67	
3	8	記載なし	1903	8	10	学事彙報	各宗大学の卒業生	擔任記者	71	
3	8	記載なし	1903	8	10	新刊批評	批評数件	擔任記者	72	
3	9	記載なし	1903	9	10	本領	自利利他論(四の続)		1	
3	9	記載なし	1903	9	10	演説	悪魔と戦争	村上專精	3	
3	9	記載なし	1903	9	10	演説	泥なき人の覚悟	芳川雄悟	10	
3	9	記載なし	1903	9	10	修養	信仰は槍ハンの如し	望月信享	15	
3	9	記載なし	1903	9	10	修養	精神修養閑話(第五回)	若生國榮	17	
3	9	記載なし	1903	9	10	修養	毒悪の教訓	若上行坡	19	本文では題「毒悪の教誡」
3	9	記載なし	1903	9	10	講義	四十二章経講義	大内青巖	22	
3	9	記載なし	1903	9	10	講義	玉耶女経講義	釋雲照	25	
3	9	記載なし	1903	9	10	史譚	春日局の天海僧正に贈れる書簡	懶園主人	30	
3	9	記載なし	1903	9	10	訪問	南清仏談	八手子	32	
3	9	記載なし	1903	9	10	家庭	家庭と家憲	筑川敬人	35	
3	9	記載なし	1903	9	10	家庭	新おとぎばなし(三)	染々坊	38	
3	9	記載なし	1903	9	10	家庭	朝かほ	懶園主人	40	
3	9	記載なし	1903	9	10	文苑	平詩人会	藍山人	40	
3	9	記載なし	1903	9	10	質疑応答	応答数件	擔任記者	43	
3	9	記載なし	1903	9	10	応募短文	吾郷の仏教霊地		47	
3	9	記載なし	1903	9	10	教界日誌	日誌数件	擔任記者	51	
3	9	記載なし	1903	9	10	教界時報	時事数件	擔任記者	51	
3	9	記載なし	1903	9	10	学事彙報	各宗大学の卒業生	擔任記者	56	
3	9	記載なし	1903	9	10	新刊批評	批評数件	擔任記者	57	
3	10	記載なし	1903	10	10	法華経講義見本	法華経講義見本	眉頭	4	4ページ。新刊の一部か
3	10	記載なし	1903	10	10	論説	私徳と公徳	有馬裕政	1	
3	10	記載なし	1903	10	10	論説	仏教の教育上の価値	虎石恵貫	5	本文では題「仏教の教育的価値」
3	10	記載なし	1903	10	10	論説	不足論	渡邊宗全	8	
3	10	記載なし	1903	10	10	演説	法話	村上專精	12	
3	10	記載なし	1903	10	10	演説	欧州所感	井上圓了	20	
3	10	記載なし	1903	10	10	修養	人生雑感	加藤咄堂	27	
3	10	記載なし	1903	10	10	修養	精神修養閑話	若生國榮	30	
3	10	記載なし	1903	10	10	修養	毒悪の教誡	若上行坡	33	
3	10	記載なし	1903	10	10	講義	觀世音菩薩	釋清澤	36	
3	10	記載なし	1903	10	10	講義	玉耶女経講義	釋雲照	41	
3	10	記載なし	1903	10	10	講義	四十二章経講義(続)	大内青巖	44	
3	10	記載なし	1903	10	10	漫録	羅旅漫録	三界一門樓主人	47	
3	10	記載なし	1903	10	10	漫録	天狗の話	懶園主人	50	
3	10	記載なし	1903	10	10	家庭	新おとぎばなし(四)	染々坊	53	
3	10	記載なし	1903	10	10	文苑	誦歌数首		55	
3	10	記載なし	1903	10	10	質疑応答	応答数件	擔任記者	60	
3	10	記載なし	1903	10	10	寄書	大無量壽經か吾人に賦与する教訓の一つ	蓬萊隠士	56	
3	10	記載なし	1903	10	10	応募短文	宿摩		66	
3	10	記載なし	1903	10	10	教界時報	時事数件	擔任記者	69	
3	10	記載なし	1903	10	10	新刊批評	批評数件	擔任記者	71	
3	11	記載なし	1903	11	10	別評	別評	鷲尾順敬	1	
3	11	記載なし	1903	11	10	本領	武士の信仰(細川幽齋の覚書に就いて)		2	最終号挨拶。鷲尾氏の辞任。次号より「同朋」へ。
3	11	記載なし	1903	11	10	論説	精神生活の三段階	紀平正美	4	
3	11	記載なし	1903	11	10	論説	人と共に楽しむ	釋袂袂	14	
3	11	記載なし	1903	11	10	法話	一大事因縁	若生國榮	17	
3	11	記載なし	1903	11	10	修養	人生雑感	加藤熊一郎	22	
3	11	記載なし	1903	11	10	修養	毒悪の教誡	若上行坡	27	
3	11	記載なし	1903	11	10	講義	觀世音菩薩(承前)	釋清澤	29	
3	11	記載なし	1903	11	10	講義	玉耶女経講義	釋雲照	37	
3	11	記載なし	1903	11	10	史譚	鑷眼禪師の真宗攻撃(三)	鷲尾順敬	42	
3	11	記載なし	1903	11	10	漫録	陳餘清談	上杉文秀	47	
3	11	記載なし	1903	11	10	漫録	天狗の話(二)	懶園主人	52	
3	11	記載なし	1903	11	10	文苑	詩	井上圓了	54	
3	11	記載なし	1903	11	10	文苑	歌	安弘秋水選	54	
3	11	記載なし	1903	11	10	質疑応答	応答数件	擔任記者	55	
3	11	記載なし	1903	11	10	寄書	野心勃勃	洲田岩造	61	
3	11	記載なし	1903	11	10	応募短文	異教徒に対する観念並びに批判		64	
3	11	記載なし	1903	11	10	教界日誌	日誌数件	擔任記者	67	
3	11	記載なし	1903	11	10	教界時報	時事数件	擔任記者	67	